

## 第 1 回

### ■講演 「川下から始める開発～ユーザーが求める製品開発～」

講師 株式会社 LC ウェルネス 代表取締役 見野 孝子 氏

### ■部会報告（分科会の活動報告）

■日時 平成 22 年 6 月 24 日（木曜日） 午後 6 時 40 分から 7 時 45 分まで

■会場 富士市産業交流展示場ふじさんめっせ会議室（富士市柳島 189 番地の 8）

### ■要旨

#### 1 「川下から始める開発～ユーザーが求める製品開発～」の要旨

見野社長が講演を行う。主な点は以下のとおり。

##### (1) 高齢化社会の現状

- ・介護保険が始まって 10 年、老老世帯、老独居世帯増加
- ・施設の入所待ちー全国で 42.2 万人
- ・要介護者のうち 8 割が在宅
- ・平成 20 年度介護保険約 8 兆円、医療保険約 37 兆円
- ・平成 19 年～20 年の 1 年間で 65 歳以上人口が 225 万人（25 パーセント）増加
- ・老年症候群 自助、公助（医療保険、介護保険、行政サービス）だけでは対応できないケースが増えている。

##### (2) 高齢化のニーズ

- ・高齢者の生活に関わるニーズがこれまで以上に出てくる
- ・元気な高齢者も同じように増えている

##### (3) 高齢者やその家族が求めるサービスやグッズ

ウォンツー困ったな、ニーズーあったらいいな、開発ポイントーよかった！

##### (4) 生活者視点や新たな価値を持ったサービスやグッズ

- ・健康寿命（自立寿命）を伸ばすサービスやグッズ
- ・元気の出るサービスやグッズ～おしゃれを楽しみたい、きれいでいたい～
- ・アクティブな高齢者の生活応援グッズ

##### (5) 心の自由＝からだの自由

行動空間の広がりー精神領域の広がりー健康と若さを保つ

##### (6) 健康文化産業の創出が待たれている（今までは、川上から川下への一方通行）

##### (7) 当社の事例 万力（ばんりき）キャリーの開発

- ・平成 21 年度地域密着ビジネス新事業助成事業
- ・インクルーシブデザインワークショップによるキャリーバックのニーズ調査
- ・提案デザインへの反映（見える化）
- ・ひとりひとりのモノづくりシステムを示唆

##### (8) あったらいいなこんなキャリーバックーインクルーシブデザインワークショップで調査（グループで聞き取り）

※いろいろな人のアイディア（デザイン面、機能面等）によるキャリーバックの紹介説明がなされた。

この後、参加者よりさまざまな質問が出され、見野社長より回答がなされた。

## 2 分科会（意見交換会）

3つの部会に分かれ、顔合わせをはじめ、各部会ごとのテーマに沿った研究内容の検討や計画等、今後の方針の意見交換を実施した。

- ・医療部会（医療関連をテーマとした研究開発を目指す部会）
- ・福祉、介護部会（福祉、介護関連をテーマとした研究開発を目指す部会）
- ・生活部会（健康、食品等生活全般の研究開発を目指す部会）

※福祉、介護部会には見野孝子社長にオブザーバー（アドバイザー）として同席いただいた。

## 第 2 回

### ■各分科会報告、分科会意見交換会

■日時 平成22年9月16日（木曜日） 午後5時30分から

■会場 富士市産業交流展示場ふじさんめっせ会議室（富士市柳島189番地の8）

### ■要旨

三つの部会（医療、福祉・介護、生活）を同時開催し、各部会のテーマに沿った研究内容の検討や計画等、今後の方針の意見交換を実施した。

#### 1 医療部会

医療関連をテーマとした研究開発を目指す部会）の報告について東海大学開発工学部医用生体工学科 教授 影山 芳之 氏から報告がなされた。

《出席者（敬称略）》

- ・東海大学開発工学部医用生体工学科 教授 影山 芳之（座長（進行役））
- ・静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター 上席研究員 中山 洋
- ・東海大学開発工学部医用生体工学科 准教授 大島 浩
- ・静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター 技師 鈴木 悠介
- ・企業組合テクノシステムズ 専務理事 鈴木 邦男
- ・フジファルマ株式会社 代表取締役 永田 靖
- ・デザインパーツ株式会社 代表取締役 菅沼 一樹
- ・株式会社ホリックス 代表取締役 堀内 喜久二
- ・東京コンピュータサービス株式会社沼津支店 拠点責任者 渡辺 篤
- ・東京コンピュータサービス株式会社沼津支店 一般職 加藤 喜一郎
- ・株式会社大地営業部 吉田 智信
- ・株式会社ミズ・バラエティー 代表取締役 栗田 佳幸
- ・堀井 健二
- ・富士市商工農林部工業振興課 主査 佐野 友樹
- ・静岡県中小企業団体中央会東部事務所 主幹 梅原 富之加

#### 2 福祉、介護部会

福祉、介護関連をテーマとした研究開発を目指す部会の報告について技術士事務所トーテック所長、企業組合テクノシステムズ 代表理事 松坂 孝 氏から報告がなされた。

《出席者（敬称略）》

※オブザーバー 株式会社LC ウェルネス 代表取締役 見野 孝子

- ・技術士事務所トーテック 所長、企業組合テクノシステムズ 代表理事 松坂 孝（座長（進行

役)

- ・アートオフィスワタナベ 代表 渡辺 節雄
- ・静岡県経済産業部新産業集積課 主幹 餅原 太一郎
- ・スター精密株式会社 技術企画部 副主事 大橋 徹郎
- ・有限会社桂井紙粘土研究所 代表取締役 桂井 繁
- ・有限会社京和工業 代表取締役 安部 一祐
- ・タカラ産業株式会社 代表取締役社長 渡辺 哲史
- ・明電ソフトウェア株式会社 機器事業部営業グループ 部長 望月 正
- ・富士市商工農林部業振興課 統括主幹 米山 充
- ・静岡県中小企業団体中央会東部事務所 副所長 大村 吉夫

### 3 生活部会

健康、食品等生活全般の研究開発を目指す部会の報告について株式会社ユーディーエム 代表取締役 漆畑 義彦 氏から報告がなされた。

《出席者（敬称略）》

- ・株式会社ユーディーエム 代表取締役 漆畑 義彦（座長（進行役））
- ・丸善工業株式会社 代表取締役会長 諏訪部 敏之
- ・富士テクノサポート 代表 中田 幸次郎
- ・株式会社GF技研 代表取締役 梅津 健児
- ・富士木材株式会社 代表取締役 川口 正俊
- ・有限会社まかいの牧場 取締役部長 岩瀬 誠樹
- ・株式会社オギ 営業部長 荻 真二
- ・静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センター センター長 倉田 俊彦
- ・財団法人しずおか産業創造機構ファルマバレーセンター 主幹 佐塚 一弘
- ・富士市商工農林部工業振興課 課長 鈴木 隆之
- ・富士市商工農林部工業振興課 主事補 増田 卓志
- ・静岡県中小企業団体中央会東部事務所 主査 吉田 一也

### 4 分科会（意見交換会）

前回に引き続いて、三つの部会に分かれ、各部会ごとのテーマに沿った研究内容の検討や計画等、今後の方針の意見交換を実施した。

## 視察研修

■視察先 HOSPEX JAPAN 2010

■日時 平成22年11月19日（金曜日）

■会場 東京ビッグサイト東展示棟（東京都江東区）

■要旨要

HOSPEX JAPAN 2010 は、新しい情報、サービスを求めて集う国内最大規模の医療、福祉関連展示会で、11月17日（水曜日）11,138人、18日（木曜日）11,028人、19日（金曜日）12,176人の計34,342人が来場した。

展示構成は、「建築、設備、エンジニアリング」、「医療機器」、「医療、福祉情報サービス」、「医療、

福祉向けサポートサービス」で約 200 社、450 小間より発表がされていた。

また、特別講演会、東京都臨床工学技士会主催セミナー、日本医療企画主催セミナー、東京都看護協会研修会等の企画イベントも同時開催されており、多くの来場者で賑わっていた。

当交流会参加者にとっても今後の研究開発に向けて参考となる点も多くみられ、有意義な情報収集の場となった。

## 第 3 回

### ■講演 「商品開発のヒント～中小企業の生き残りをかけて～」

講師 株式会社コラボ 代表取締役社長 秋元 幸平 氏

### ■分科会（意見交換会）

■日時 平成 22 年 11 月 30 日（火曜日） 午後 5 時 30 分から

■会場 富士市産業交流展示場ふじさんめっせ会議室（富士市柳島 189 番地の 8）

### ■要旨

#### 1 「商品開発のヒント～中小企業の生き残りをかけて～」の要旨

##### (1) 株式会社青芳製作所と株式会社コラボ

青芳製作所は創業 55 年間のスプーンのメーカー。売上は約 8 億円。生活雑貨が 85 パーセント、福祉関係が 15 パーセント

平成 14 年青芳の福祉部門が分社独立して株式会社コラボを設立。平成 20 年に景気低迷のため、改革を行い株式会社コラボの運営を青芳に戻す。株式会社コラボは一部の機能を残し企画営業は青芳製作所で行っている。

##### (2) 商品の紹介

三菱重工と共同開発の形状記憶ポリマースプーンー自由に形が変えられる。

燕市の地場産業 UD 食器 ライトカトラリーー世代をこえて使いやすい、等々

##### (3) いま、力を入れている組織

新潟県健康ビジネス協議会、新潟大学歯学部「食の支援ステーション」、NPO 法人 UD21 にいがた

##### (4) 健康ビジネス協議会とは

行政と企業が車の両輪のごとく連携をとって医療、福祉、健康に関する事業化。「食」「サービス交流」「ものづくり」の 3 部会を中心に活動。県内外の大小を問わない企業、90 社が参加

##### (5) 「食の支援ステーション」

国立大学病院に中に企業が施設をつくることは極めて特別で全国でもはじめての事業

大学と企業の共同研究の場所歯科衛生士や言語聴覚士が患者様に説明する。

福祉用具、食品の調査を行う場所どのような症状の方が何を求めているかの調査

##### (6) NPO 法人 UD21 にいがた

UD マニュアルの作成。行政機関の UD チェック。新潟県内最大の福祉展示場「ウィルアシスト」の運営

##### (7) 「UD21 にいがた」の使命

豊かな地域社会の形成に寄与する。

21 世紀の子供たちにこの豊かな新潟を残す。

##### (8) いままでの経験から言えること

行政を頼りにしないこと。一行政が事務局だと企業の主体性がなくなる。

先生を頼りにしないこと。－派閥や学説など変動要素がある  
補助金を頼りにしないこと。－いつまでも補助金は続かない  
自ら積極的に行動すること！ 頼れるのは自分だけ！ 仲間を使う、仲間に使われる。

(9) これからの方向性一人の「ちから」を借りる！

中国の販売ルートの開拓 12月3日から北京国際福祉博覧会に出展。

県の力を使いながら、新しいビジネスモデルの構築。

ただハードな「ものづくり」をするだけでなく、ソフトも同時に販売する。

※この後、参加者よりさまざまな質問が出され、秋元社長から回答がなされた。

## 2 分科会（意見交換会）

三つの部会に分かれ、各部会ごとのテーマに沿った研究内容の検討や計画等、今後の方針の意見交換を実施した。

- ・医療部会（医療関連をテーマとした研究開発を目指す部会）
- ・福祉介護部会（福祉介護関連をテーマとした研究開発を目指す部会）
- ・生活部会（健康、食品等生活全般の研究開発を目指す部会）

※生活部会には秋元社長にオブザーバー（アドバイザー）として同席いただいた。

## 第 4 回

■アドバイザーを交えた全体意見交換会「成果を見据えた研究、開発のすすめ」

進行役 東海大学工学部医用生体工学科 教授 影山 芳之 氏

アドバイザー 特別養護老人ホーム岩本園 施設長 渡辺 睦 氏

株式会社ヤマシタコーポレーション東京本部 企画部次長 山本 一志 氏

■日時 平成22年2月28日（月曜日）午後5時30分から

■会場 富士市産業交流展示場ふじさんめっせ会議室（富士市柳島189番地の8）

■要旨

影山教授の進行により意見交換会が実施された。進行内容は以下のとおり。

- ・これまでの各部会のテーマの提案、説明
- ・課題、改善案のサンプル提示
- ・会場（参加者）からの意見聴取
- ・アドバイザーからのアドバイス
- ・アドバイザーからのアドバイスを受けての質問、意見

《その他》

- ・富士医交会のかかわり
- ・富士市、県中小企業団体中央会の支援説明
- ・具体的成果と組織形態例－企業組合テンテック渡邊理事長

まとめ

この間、参加者よりさまざまな質問が出され、アドバイザー等よりの確かな回答がなされた。

1 団体の名称や人物の肩書、各種制度の内容は講演、視察等の時点のままですので、御留意ください。

2 静岡県中小企業団体中央会が作成した原稿を基にしています。



主催 富士市 産業経済部 産業政策課  
〒417-8601 静岡県富士市永田町一丁目 100 番地  
電話番号 : 0545-55-2779 E-mail : sa-sangyou@div.city.fuji.shizuoka.jp

事務局 静岡県中小企業団体中央会 東部事務所  
〒410-0881 静岡県沼津市八幡町 7 番 1 号  
電話番号 : 055-963-4511 E-mail : fuji-ikoukai@siz-sba.or.jp